

1. 授業のねらい・概要

教育課程の意義と役割および現代的課題を概観した後、教育課程編成の方法論や学習指導要領の歴史的変遷について解説する。現在の学習指導要領の特徴とそこで目指されている学校教育像を理解したうえで、現代のさまざまな教育問題に対して学校教育が果たすべき役割について、具体的なカリキュラム開発の方法論に基づく考察を行えるようになることを目指す。

2. 授業の進め方

レジュメおよび参考資料を配布し、基本的には講義形式で進めていく。また具体的な教育実践を扱った映像資料や文献などを紹介し、その内容について受講者全員で議論する時間も多く設けたい。

3. 授業計画

1. 教育課程の意義と役割	9. 教育課程編成の方法②：教育課程実施上の課題
2. 現代の教育問題と教育課程①：学力とは何か	10. 教育課程の評価方法
3. 現代の教育問題と教育課程②：教師の専門性	11. 潜在的カリキュラムと学校文化
4. 学習指導要領の変遷①：戦後から現在まで	12. 教育課程編成の現代的課題
5. 学習指導要領の変遷②：ゆとりと学力	13. 教育課程編成の実際と事例検討
6. 新学習指導要領の特徴	14. 実践例の検討に基づくグループ発表
7. 教育課程編成の基礎理論	15. 講義のまとめ
8. 教育課程編成の方法①：基本方針と編成上の留意点	

4. 到達目標

教育課程を編成するための方法論や教育評価のあり方、学習指導要領の変遷と現在の学習指導要領の特徴などを十分に理解したうえで、現代のさまざまな教育問題について、教育課程という観点から考察できるようになることが本講義の到達目標である。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

- ・配布資料および参考文献の読解（30分程度）。
- ・発表課題およびレポート作成にむけての準備（1時間程度）。

6. 成績評価の方法・基準

平常点（30%）およびレポート（70%）をもとに総合的に評価する。

7. テキスト・参考文献

『中学校学習指導要領』文部科学省、2017年。

『中学校学習指導要領解説 総則編』文部科学省、2017年

8. 受講上の留意事項

明確な目的意識をもち、教職に就くことを強く希望する学生の受講を望む。